

室戸ユネスコ世界ジオパークの生き物ウォッチング！

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

室戸にすむ野生動物の調査・観察を行う活動を通して、生き物への興味関心を高め、主体的に学ぶ力、観察する力を育む。

○ 実施期間

令和元年9月7日（土）～令和元年9月8日（日）1泊2日

○ 対象者・参加者数（人数／定員）

小学生、未就学児とその保護者
7家族 16名／定員20名

○ 活動プログラム

9月7日〔土〕 曇りのち雨	9月8日〔日〕 雨のち晴れ
12:30 室戸世界ジオパークセンター着(所バス)	5:00 起床
13:00 受付	5:30 ネズミトラップの確認・観察・片付け
13:10 オリエンテーション	6:00 コウモリトラップの確認・観察・片付け
13:25 室戸ジオパークの説明	7:30 朝食
14:15 コウモリの棲む洞窟前にて説明(所バス)	8:30 清掃・点検
15:30 コウモリトラップの設置	9:00 動物カメラの説明
16:15 配宿・入所オリエンテーション	9:30 動物カメラの設置
17:00 ネズミトラップの設置	10:30 生き物のお話
18:00 夕食	11:00 スタッフ挨拶・アンケート記入
19:00 レクリエーション	11:15 終了
20:00 コウモリトラップの見回り	11:30 自然の家発(所バス)
20:30 入浴・就寝	



2. 活動の様子

<1日目>

今回の「生き物ウォッチング！」では、高知・徳島方面の4年生から6年生までの小学生、未就学児とその保護者を募集し、計17名が参加した。オリエンテーションでは、参加者とスタッフが自己紹介を行い、今回のイベントで楽しみにしていることを紹介した。その後の室戸ジオパークの説明では、参加者は室戸の海底の地形についてインストラクターの説明を受け、また3Dマップを用いて学習した。

次に、最御崎寺付近にあるコウモリが生息する洞窟の前にて、講師の谷地森先生によるコウモリの生態に関する説明を聞いた。

講師が洞窟で捕まえた2種類のコウモリ（ユビナガコウモリ・キクガシラコウモリ）を間近で観



察した。子どもたちはそれぞれのコウモリの特徴に関する説明を聞き、コウモリの姿を写真に撮るなどして、関心を深めているようだった。

自然の家へ移動し、コウモリのトラップを仕掛ける際には、子どもたちもスタッフの指示を聞きながら、初めての道具を一生懸命組み立てて設置していた。

その後は雨が激しくなったため、予定を変更しロッジにて宿泊する部屋の準備と自然の家での生活に関する説明を受け、雨が止んだところでネズミのトラップを設置した。

夕食後のレクリエーションでは「動物交差点」「バットとモス」など動物に関連した3種のゲームを行った。子どもたちは様々な動物の特徴を考えたり、コウモリになりきったりと、楽しく学ぶことができていた。再び雨が激しくなったため、予定されていたナイトハイクを中止し、コウモリトラップの見回りを行ったが、コウモリは掛かっていなかった。参加者からは不安げな声も上がったが、ロッジに戻るとまた親子で楽しく話す様子が見られた。



<2日目>

2日目は小雨が降る中、ネズミトラップの確認を行った。トラップには1匹のアカネズミが掛かっており、講師が特徴の紹介と大きさ等の測定を行った。コウモリトラップには、室戸では珍しいテングコウモリが掛かっており、参加者・スタッフ共に満足いく結果となった。測定を終えて飛び去るコウモリの姿に、参加者からは歓声が上がっていた。



朝食・部屋の片付けを終えた後、動物カメラの使い方に関して説明を聞き、その後カメラの設置を行った。参加者たちは見つけたい生き物を決め、その生き物がどのあたりを移動するかを思いを巡らし、カメラを設置していった。

谷地森先生による生き物の話では、クマやサルなどさまざまな生き物の映像が紹介され、自由に活動する動物たちの様子を見て、参加者たちからは「かわいい!」「こわい!」など動物ごとに多様な感想が寄せられた。スタッフの挨拶の後には全員で写真撮影が行われ、和やかな雰囲気の中、プログラムは終了した。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・コウモリやネズミが無事に見れてよかったですと思います。
- ・くまの映像がみれておもしろかった。こうもりがつかまえてよかったです。ネズミをまたつかまいたい。自分のわなに入らなかったのがくやしかったです!
- ・天気も悪かったです、たくさんの生き物を見る事が出来て良かったです。また、機会があれば参加したいです。
- ・雨天で大変でしたが、日頃できない体験を子どもたちにさせて頂きありがとうございました。私

も学生の頃、生物部でニホンカモシカを追いかけ回していた事を懐かしく思い出しました。楽しい2日間でした。

○ 事業の成果

- ・ 生きているコウモリとネズミを間近で見ることができ、また、レクリエーションやビデオ映像などで様々な動物の特徴を知ることができ、子どもたちの生き物への興味が深まった。
- ・ 活動が進むにつれて、参加した親子の間だけでなく、子ども同士で話したり、遊んだりする様子が見られるようになり、人と人とのつながりを深めることができた。

○ 事業の課題

- ・ 自然の家職員とジオパークのスタッフ、及び講師の方々とは別々に行動する場面があり、連絡に手間取ったため参加者を待たせてしまう場面があった。スタッフ間の連絡手段やそれぞれの行動を明確に把握できるようにしたい。
- ・ 夜間・早朝の活動はミニバン2台で、2回に分けて送迎を行ったため、一部の参加者を雨が降る中で待たせることとなってしまった。移動手段に関して、活動中は常にバスを使用できるように運転手のスケジュールを調整するなど、対応を検討したい。